

「子どもと結ぶ ボラネットくまの」

「ハーモニカついでにいろいろな種類があるんだね」

ボラネットくまの

9月17日(水)、熊野第一小学校児童クラブでは、3カ月に一度行われるお誕生日会がありました。そこで、地域の先生として、別府守雄さん(石神)が、ハーモニカの楽しさを児童ら約40人に教えてくれました。

児童の中には、鍵盤ハーモニカの演奏をしたことはあるけれども、ハーモニカは手にしたことがない子もいます。別府さんの新鮮なハーモニカの音色に、耳を傾けながらも、知っているメロディーが流れると自然に歌を口ずさみます。みんなで一緒に「ハッピーバースデー」を歌った後、この機

会にハーモニカという楽器をもっと知ってほしいと、別府さんが用意したいろいろな国のいろいろな大きさのハーモニカについての紹介がありました。また、ハーモニカは音階によって、息を吸ったり吐いたりすることで音を出しますが、その実験としてストロークやホースを使って演奏ができるかということにも挑戦しました。中でも約10メートルのホースでの音出しには、児童らも興奮した様子でした。地域の先生のアイデアによって、児童らはいろいろな角度でハーモニカという楽器を知ることができたようです。

(生涯学習課)



「子どもと結ぶボラネットくまの」は、学校で子どもたちに得意なことを教えたり、作業を手伝ったりして、熊野の子どもの成長をみんなで助けるボランティア制度です。次の表の中で、「これならできそうだ」というものがあれば、気軽にご連絡ください。年齢性別は問いません。

問合せ先 生涯学習課

TEL 8 2 0 — 5 6 2 1

～ 「子どもと結ぶボラネットくまの」 ～

地域の先生として子どもたちに教えてください

No.	いつごろ	どこで	だれに	なにを???	分類
1	12月上旬	熊野第四小	1年生	お手玉、羽つき、こまやあまわし、けん玉、昔の遊びを教えてください。	昔遊び
2	12～2月	淳教幼稚園	園児	園児の知っている曲を楽器で演奏し、楽器のお話をしてください。	芸術
3	2月	熊野第一小	5年生	盲導犬とともに生活されている人のお話を聞かせてください。	福祉
4	2月初旬	熊野第一小	6年生	社会科で日本と関わりが深い国々の人々の暮らしや文化を知り、理解するという単元があり、アメリカに滞在された経験のある人の、具体的な親しみ深い話を聞かせてください。	国際
5	3月(春休み頃)	第一児童クラブ	1～3年	レクリエーションゲームを通して遊ぶ楽しさを伝えながら、相手も楽しめるよう工夫をお願いします。	レク

指導

粗品をもらいに行っただけなのに…

相談内容

「もれなく粗品進呈」というチラシを見て、宣伝販売の会場に行った。日用品を無料でもらった後、くじを引いたところ当たりが出て、「健康に良い布団が格安になる」と勧められた。必要ないと断ったら「家までついて行く」と強い口調で言われ、怖くて40万円もする布団を契約してしまったが、解約したい。

アドバイス

「無料で品物をあげる」などといった誘い文句で、

特設会場に消費者を集め、閉め切った会場内で、日用雑貨やインスタント食品などを無料で配りながら会場の雰囲気盛り上げておいて、最終的に布団などの高額な商品売りつける商法をSF(催眠)商法といいます。

「タダの物だけ貰って帰ればいいから」と思って会場に行ったところ、密室状態の中で雰囲気感わされて契約してしまったり、この相談のように、契約しないと帰してもらえないような状況になって無理やり契約させられてしまうこともあるようです。

SF(催眠)商法は、契約書面を受け取った日から8日以内であればクーリング・オフにより無条件で契約の解除ができますが、「タダより高いものはない」「うまい話にはウラがある」ということを肝に銘じて、安易に会場に行かないことが大切です。

(生活環境課)

